

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第12週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (12週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 5例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：A型肝炎 1例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	男	疑似症患者	咳、背部痛
			80歳代	男	肺結核	発熱
			100歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		都城	20歳代	男	肺結核	咳
		日向	50歳代	男	無症状病原体保有者	—
4類	A型肝炎	宮崎市	40歳代	男	—	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝腫大、肝機能異常

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 939 人 (定点当たり 24.8) で、前週比 99% とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した疾患はインフルエンザと手足口病であった。減少した主な疾患はRSウイルス感染症と感染性胃腸炎であった。

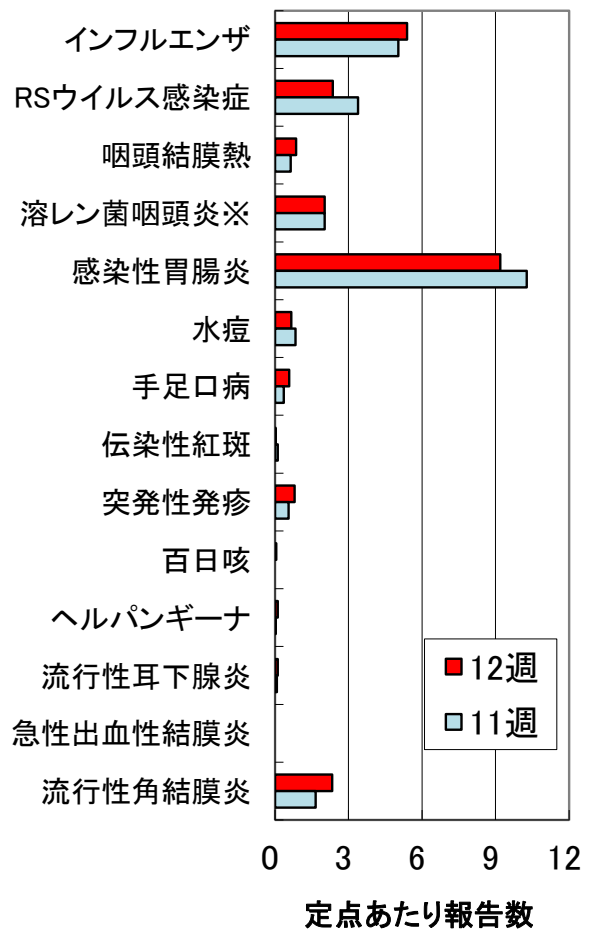
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

・報告数は 318 人 (5.4) で、前週比 107% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (12.5) の約 0.4 倍であった。日南 (12.2) 保健所からの報告が多く、年齢群別では5歳未満が全体の 22%、5-9歳が 31%、10-14歳が 21%、15-19歳が 5%、20-59歳が 16%、60歳以上が 5% を占めた。

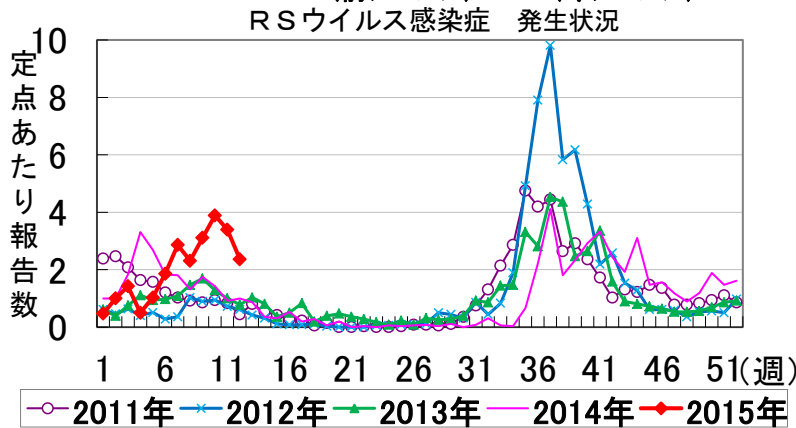
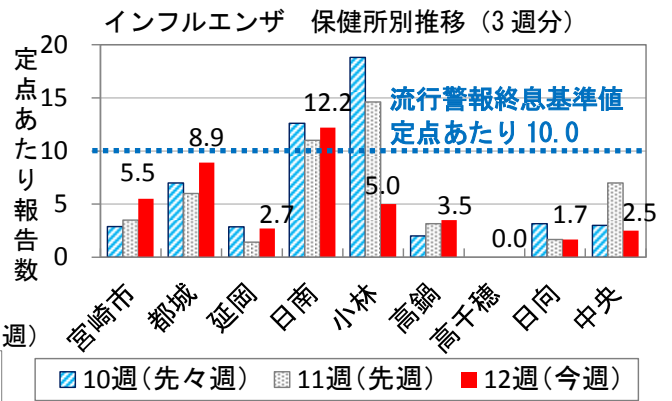
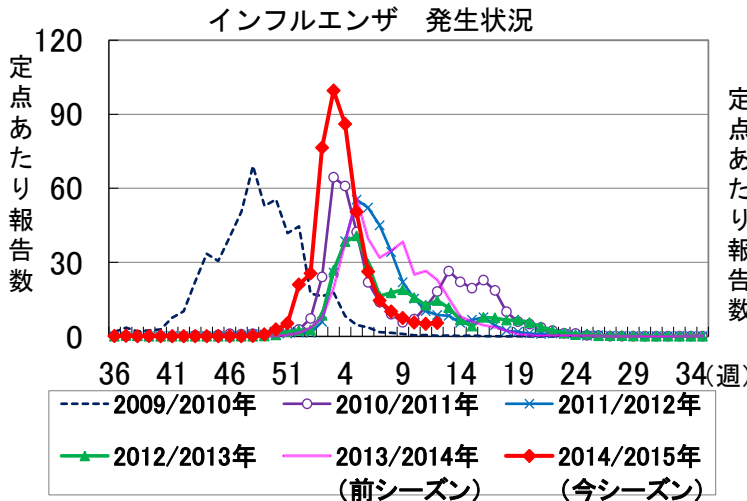
【RSウイルス感染症】

・報告数は 85 人 (2.4) で、前週比 70% と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.9) の約 2.6 倍であった。延岡 (14.0) 保健所からの報告が多く、年齢別割合をグラフに示す。

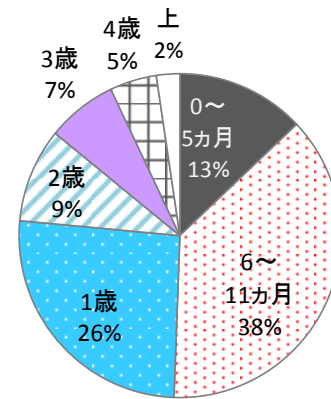


* 過去5年間の当該週、前週、後週 (計15週) の平均値

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



RSウイルス感染症 年齢別割



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	インフルエンザ(12.2)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(22.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *
 ・感染性胃腸炎(20.0)
 * 流行注意報レベル基準値 *
 ・インフルエンザ(10.0)

★基幹定点からの報告★

- 無菌性髄膜炎：都城保健所管内で1例報告された。0歳で原因病原体はRSウイルス。
- 感染性胃腸炎（ロタウイルス）：高鍋保健所管内で1例報告された。5歳で、原因病原体の群別不明。

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成27年3月23日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10歳代	女	2015.3.4	百日咳疑、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.3.20
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	10歳代	男	2015.3.5		便	2015.3.12
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4歳	女	2015.2.16	百日咳疑、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.3.15
O4群型別不能(O4:i:-)	30歳代	女	2015.3.5		便	2015.3.12
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	—	女	2015.3.13		便	2015.3.20

○3名の患者からサルモネラ属菌が分離された。サルモネラ症は年間を通して発生しており、今年度は患者34名から17種類の血清型のサルモネラ属菌が分離、同定されている。本疾患は気温の高い時期に患者数が増加することから、これから注意の必要な感染症の一つである。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	検出日
コクサッキーA16	0～4歳	女	2015.01.21	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2015.03.12
アデノウイルス1型	0～4歳	男	2015.02.12	不明の発疹症、39.5℃、口内炎、 発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2015.03.16
RSウイルス	0～4歳	女	2015.03.16	急性気管支炎、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.03.20
ヒトメタニューモウイルス ライノウイルス	0～4歳	男	2015.03.06	百日咳疑い、 下気道炎(肺炎、気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2015.03.17
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	女	2015.03.09	肺炎、呼吸不全、39.8℃、 下気道炎(肺炎)	咽頭ぬぐい液	2015.03.17
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	男	2015.03.09	気管支炎、40℃、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2015.03.17
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	男	2015.03.12	集団かぜ、39.9℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.03.17
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	女	2015.03.12	急性肺炎(ウイルス性疑い)、39℃、 下気道炎(肺炎、気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2015.03.17
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	女	2015.03.14	急性細気管支炎、百日咳疑い、38℃、 下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2015.03.20
ヒトメタニューモウイルス	0～4歳	男	2015.03.17	RSV感染症、発熱、下気道炎(肺炎)	鼻汁	2015.03.20

○手足口病と診断された小児1名からコクサッキーA16が分離された。手足口病は夏によくみられる疾患であるが、全国の報告数をみると、過去5年間の同時期に比べ多い傾向にあり、2週連続で増加している。手足口病の患者から分離されたウイルスの約8割をコクサッキーA16が占めており、今後の発生動向に注意が必要である。

○発疹症の乳児1名からアデノウイルス1型が分離された。

○急性気管支炎と診断された乳児1名からRSウイルスが検出された。全国的にRSウイルスの報告数は減少傾向にある。RSウイルス感染症は乳幼児に多い急性呼吸器感染症であり、1歳以下の報告数が全体の7割を超えている。

○呼吸器症状を伴う乳幼児7名からヒトメタニューモウイルスが検出された。うち1名はライノウイルスも検出された。ヒトメタニューモウイルスは小児の呼吸器感染症の5～10%を占め、RSウイルスに次ぐ細気管支炎の起因ウイルスである。RSウイルス感染症と似た症状を有し、重症例では喘息様気管支炎、細気管支炎、肺炎などを起こす。今回7名中6名が気管支炎もしくは肺炎の重症例で、全国ではヒトメタニューモウイルスによる急性脳炎も1例報告されている(IDWR:通巻第17巻第10号)ことから、注視する必要がある。

📊 全国第11週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第11週)

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	345例			
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	15例	腸チフス 2例
	パラチフス	1例			
4類感染症	E型肝炎	6例	コクシジオイデス症	1例	デング熱 2例
	マラリア	1例	レジオネラ症	20例	
5類感染症	アメーバ赤痢	9例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 16例
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5例
	後天性免疫不全症候群	14例	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 6例
	侵襲性肺炎球菌感染症	22例	水痘(入院例)	2例	梅毒 28例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
	風しん	3例			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比99%とほぼ横ばいであった。今週増加した疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は19,664人(4.0)で、前週比92%と減少した。高知県(10.9)、大分県(8.1)、福井県(7.9)からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の約17%、5～9歳が32%、10～14歳が20%、15～19歳が4%、20～59歳が20%、60歳以上が7%を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は9,807人(3.1)で、前週比100%と横ばいであった。山形県(6.6)、石川県(6.5)、鳥取県(6.3)からの報告が多く、年齢別では4～6歳が全体の約4割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第12週(3月16日～3月22日)

疾病名		第11週	第12週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	297	318	88	89	19	61	25	21		10	5
	定点あたり	5.03	5.39	5.50	8.90	2.71	12.20	5.00	3.50	0.00	1.67	2.50
RSウイルス 感染症	報告数	122	85	4	1	56			5		19	
	定点あたり	3.39	2.36	0.40	0.17	14.00	0.00	0.00	1.25	0.00	4.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	23	31	13	3	4	6				5	
	定点あたり	0.64	0.86	1.30	0.50	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	73	73	27	12	13	1		2		18	
	定点あたり	2.03	2.03	2.70	2.00	3.25	0.33	0.00	0.50	0.00	4.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	370	331	65	47	19	48	50	41	9	30	22
	定点あたり	10.28	9.19	6.50	7.83	4.75	16.00	16.67	10.25	9.00	7.50	22.00
水痘	報告数	30	24	2		12	1	1	3		5	
	定点あたり	0.83	0.67	0.20	0.00	3.00	0.33	0.33	0.75	0.00	1.25	0.00
手足口病	報告数	13	21	5	15			1				
	定点あたり	0.36	0.58	0.50	2.50	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	4	1	1								
	定点あたり	0.11	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	20	29	10	5	7	1	2	2		2	
	定点あたり	0.56	0.81	1.00	0.83	1.75	0.33	0.67	0.50	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数		2	2								
	定点あたり	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	4	1	3							
	定点あたり	0.03	0.11	0.10	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	4		2				1		1	
	定点あたり	0.08	0.11	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	10	14	10	4							
	定点あたり	1.67	2.33	3.33	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1	1						1			
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～12週)

2類感染症	結核	54例(5)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	A型肝炎	1例(1)	つつが虫病	3例	マラリア
	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	2例	播種性クリプトコックス症
	破傷風	1例			

()内は今週届出分、再掲